

実社会対応プログラム(公募型研究テーマ)

◆課題(研究領域): 「観光の人文・社会科学の深化による地域力の創出」

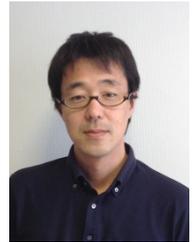
◆研究テーマ: 「地域に現存する学術資料を活用した地域学術観光創出に関する研究」

研究期間: H25.10~H27.9

委託費総額: 9,948千円

<研究代表者>

堀井 洋: 合同会社AMANE 調査研究ユニット / 代表社員



<専門分野>
人文情報学, 情報システム学

<Webページ>
<http://amane-project.jp/llc/>

<研究目的・概要>

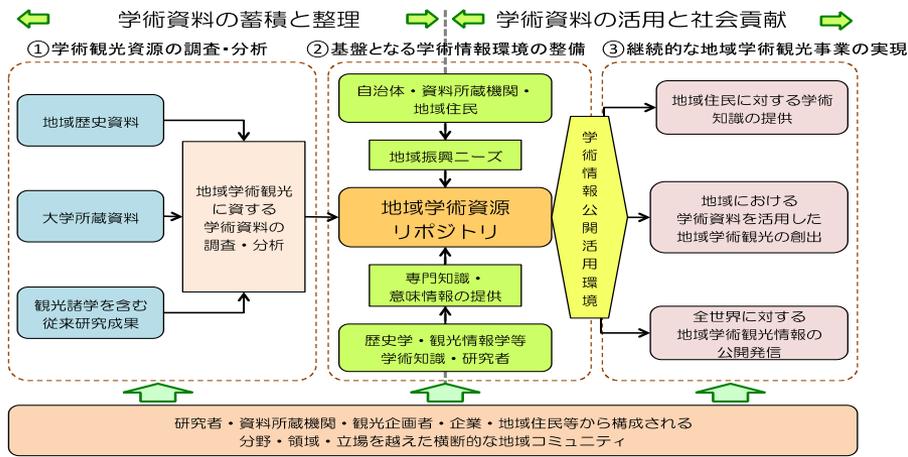
- 学術資料調査・保存において、観光や郷土教育など具体的な地域振興への活用が想定されてこなかった。
- 学術資料を地域観光分野において利活用するための人的および情報システムに関する仕組みの整備が必要。

学術資料を活用した地域学術観光創出のための仕組みの構築と、それを基盤とした学術資料を題材とする地域学術観光の実証。

1. 地域に現存する学術観光資源の調査・分析
2. 基盤となる学術情報環境の整備
3. 地域学術観光事業の実証実験

学術研究成果を根拠とする高付加価値かつ持続可能な観光コンテンツおよび事業の創出・展開を目指す。

<研究計画の特徴>



<目標とする研究成果>

(1)「地域学術資源リポジトリ」の公開

オープンデータ形式で学術情報を広く公開することにより、スマートフォンアプリ等との連携など、地域学術観光における幅広い利活用が実現される。

(2)「地域学術資源リポジトリ」の活用

地域学術資源リポジトリを核として、人文学・社会科学系研究者を含む地域コミュニティを形成することにより、観光企画者単独では実施困難な学術資料調査・分析が必要な学術コンテンツが創出される。さらに、地域学術観光の実施により、人文科学・社会科学系研究者に対する地域社会からのフィードバックが実現され、研究者の社会参加が促進される。